

ここがハーモニーだよ!日本-アナログとデジタルの共存

イ・ソヨン

皆さん、こんにちは。私はイ・ソヨンと申します。今日、私は留学生活をしながら感じた日本におけるアナログとデジタルの調和についてお話したいと思います。

皆さんの家に漫画はありますか？ 私は日本に初めて留学に来た時、書店だけでなくコンビニでも漫画を販売していて、びっくりしました。韓国ではインターネットを通じて漫画を消費するため、紙の漫画をほとんど買わない一方、日本では紙の漫画が依然として多くの人に愛されている点が不思議だと感じ、日本はアナログ文化を上手く維持している国であると思いました。同時に日本はアニメのようなデジタルコンテンツの天国でもあります。アニメは漫画という伝統的な形式から始まっており、このような漫画とアニメが共存する姿はアナログの繊細さとデジタルの技術力をすべて見せてくれていると思います。

日本のアナログとデジタルの共存の例はこれだけではありません。鎌倉のある海鮮丼(かいせんどん)のお店に行った時、目の前で料理を直接作ってくれる姿を見て、韓国では高級レストランでしかできないような体験を日本では日常的にできることに驚きを感じました。その一方で、回転寿司のレーンや、ファミリーレストランの猫ロボットのようなデジタル機械は、韓国より発達しているので、とても便利だと感じました。「アナログ的な体験」を通じて顧客とのコミュニケーションを続けながら、デジタル機械を通じて人々に便利さを提供する姿はアナログとデジタルが共存するもう一つの例だと思います。

このように、日本はアナログとデジタルがバランスを取り、お互いを補完し合う素晴らしい文化を保持しています。新しい技術の導入が重視される社会で伝統的な方式を尊重しつつ、デジタルとアナログが共存されている日本の文化的特性は世界が見習うべき素敵な文化的姿だと思います。以上です。ご静聴、ありがとうございました。